

三菱自動車、新型軽スーパーハイトワゴンの車名を『eK クロス スペース』『eK スペース』に決定

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役 CEO：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、今春に発売を予定している新型軽スーパーハイトワゴンの車名を決定、クロスオーバーモデルを『eK クロス スペース』、標準モデルを『eK スペース』としました。

本モデルは、2019年3月に発売した『eK クロス』『eK ワゴン』に続き、三菱自動車と日産自動車の合併会社である株式会社 NMKV が企画・開発マネジメントした新型軽自動車の第2弾で、本日より開催されている東京オートサロン 2020 に参考出品しています。

新型『eK クロス スペース』『eK スペース』は、「SMILES & FREESTYLE」をテーマとしたデザイン、軽スーパーハイトワゴンならではの広々とした快適な居住空間を実現し、同カテゴリーに求められる性能と機能を盛り込んだ、三菱自動車らしさを追求した新型軽スーパーハイトワゴンです。

新型『eK クロス スペース』『eK スペース』スペシャルサイトはこちら
www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/ek_series/space_special/



eK クロス スペース



eK スペース



eK クロス スペース



eK スペース

1. 個性的なデザインのスーパーハイトワゴン

<eK クロス スペース>

- ・ フロントフェイスに三菱自動車のデザインコンセプト「ダイナミックシールド」を『eK クロス』に続き採用。水平垂直基調のバンパーやグリルにより、SUVらしい力強さと安定感を表現しました。
- ・ 前方から後方に向かって伸びる彫刻的で立体感のあるキャラクターラインにより前後に突き抜ける勢いのある骨格の強さと、タイヤを車体の四隅に配し、それを包み込むバンパーサイドへとつながるフェンダーにより、しっかりと路面をつかんで踏ん張るイメージを強調しました。
- ・ フローティングルーフやベルトラインから繋がるリヤで上部に切れ上がるジェットフィンピラー（Dピラー）を採用し、薄く滑らかなキャビン表現しつつ、力強く厚いボディとのコントラストにより、トップクラスの居住空間でありながら、キビキビとした走りを想起させるサイドビューとしました。
- ・ サイドシルガーニッシュとホイールアーチをブラックとし、前後バンパー下部のスキッドプレート形状部をシルバーとすることで、SUVらしさを強調しました。

<eK スペース>

- ・ フロントフェイスは開口部の少ないボディ同色のグリルでしっかりと丁寧な作りこまれた品質感を表現しました。ヘッドランプからボディサイドへと連続するキャラクターラインにより、一体感があり伸びやかでスタイリッシュなデザインとしています。

2. クラストップレベル^{*1}の広々とした快適な室内空間

- ・ 小さいお子様のいるご家族での使用を想定して、リヤスライドドアの開口幅、リヤシートのスライド量、後席足元の広さをクラストップレベルとし、後席の居住性を最大化させました。また、室内の空気を循環させるプラズマクラスター^{*2}付リヤサーキュレーターを設定^{*3}し、後席での快適性も高めています。
- ・ 従来車からホイールベースを延長することで、いっそう広々とした快適な居住空間を実現しました。また、後席の足元空間を拡大し、前席を一番後ろに下げた状態でも余裕のある空間を確保しています。

*1：軽スーパーハイトワゴンクラスにおいて、2019年12月現在（当社調べ）。

*2：プラズマクラスターはシャープ株式会社の登録商標です。

*3：一部グレードに標準装備及びメーカーオプション設定。

3. 運転のしやすさと乗り心地の良さ、それをサポートする先進の運転支援技術・安全装備

- ・ HYBRIDシステムを採用する自然吸気エンジンとターボエンジンを設定し、CVTと組み合わせることで、力強く滑らかな加速性能と優れた燃費性能を両立しています。なお、ターボエンジン搭載車は、ステアリングホイールから手を離すことなく変速操作ができるパドルシフトを採用しています。
- ・ ステアリングの操舵力とショックアブソーバーの減衰力を最適化することで、低速時はキビキビと軽快な、高速時はしっかりと安定したハンドリング性能を実現しました。また、日本国内では三菱自動車初となる「ヒルディセントコントロール」を搭載しました。急な下り坂でも安心してハンドル操作に集中できます。
- ・ 高速道路同一車線運転支援技術「MI-PILOT（マイパイロット）」や、衝突被害軽減ブレーキシステム、踏み間違い衝突防止アシストなど「サポカーS ワイド^{*4}」に該当する予防安全技術「e-Assist」を採用することで、ドライバーの負担を軽減し、乗る人すべてに安心・安全を提供します。

*4：サポカー（セーフティ・サポートカー）は安全運転をサポートする先進技術を搭載したクルマです。高齢運転者を含めたすべてのドライバーによる交通事故の発生防止・被害軽減対策の一環として、国が推奨する新しい自動車安全コンセプトです。搭載機能に応じて「サポカー」「サポカーS（ベーシック、ベーシック+、ワイド）」に区分されています。

以 上